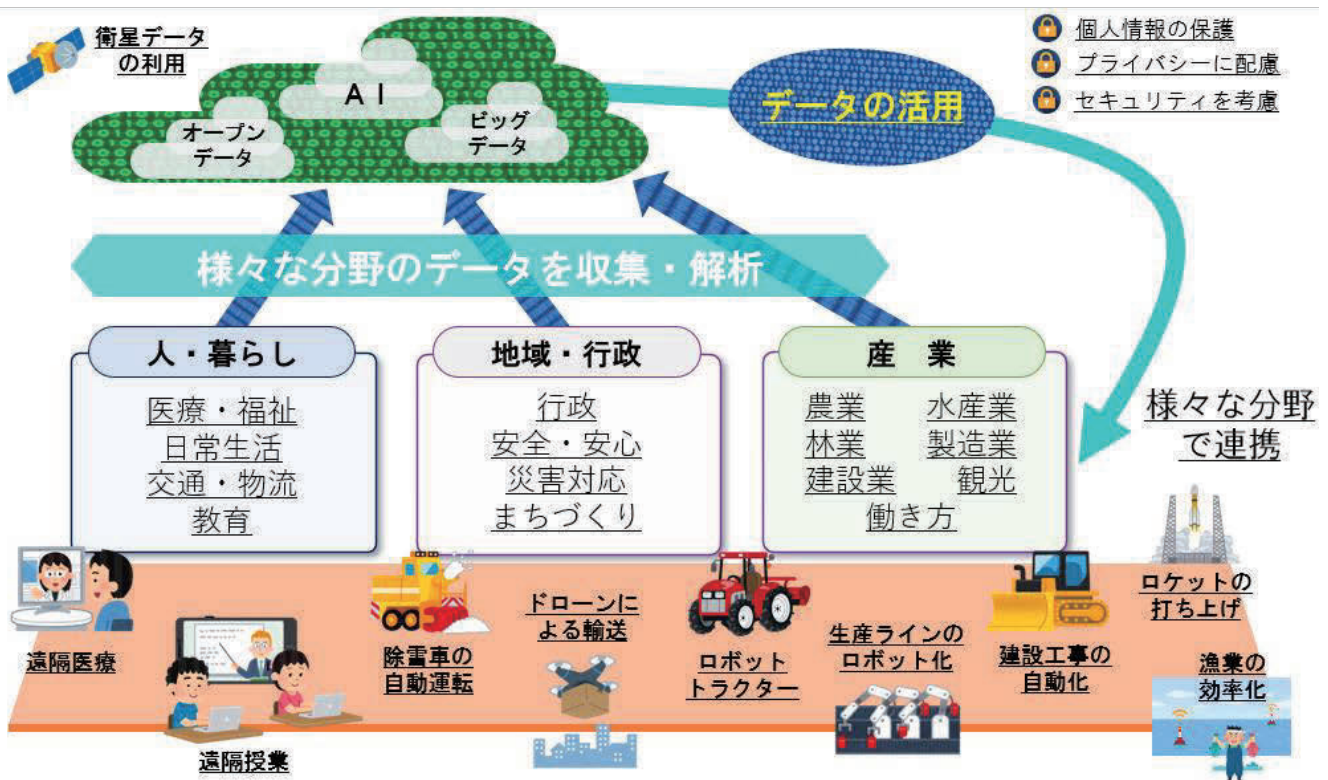


### 3. デジタル社会の実現に向けた動き

道では、「未来技術を活用した活力にあふれる北海道」を目指し、2021年3月に「北海道Society5.0推進計画」を策定し、暮らしや産業活動などあらゆる場面で未来技術を活用し、直面する課題の解決と社会・産業の改革を進めることで、道民生活の質の向上、地域や産業の活性化の実現化に向けた取組を推進しています。社会資本においても、整備や維持管理にICTやAIなどの新技術を活用することで、工事や点検などの高度化・効率化を図るとともに、将来、社会資本自体にも新技術が実装されることにより、社会資本の新たな価値が発揮されることを期待されます。



「北海道Society5.0構想」で描かれた北海道の未来社会

### 4. 観光振興と国際交流の拡大

2020年7月にウポポイ（民族共生象徴空間）が開設され、2021年7月には北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録、2023年6月 北海道白滝遺跡群出土品が国宝に指定（中空土偶（函館市）に次ぎ道内で2例目）されるなど、近年、北海道の歴史・文化への注目が高まっています。また、2023年には、G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合、アドベンチャートラベル・ワールドサミット（ATWS）が北海道で開催されました。

国内外に北海道の魅力を発信することで、道内の観光需要を高め、地域の飛躍の契機となることを期待されています。